

經濟論叢

第七十四卷 第六號

勞使協議制 Joint Consultation について……田 杉 競 (1)

明治初期のインフレーション……………眞 藤 素 一 (18)

死亡率について……………谷 山 新 良 (38)

[昭和二十九年十二月]

京都大學經濟學會

京都大學經濟學會規則

第一條 本會を京都大學經濟學會と稱する

第二條 本會は左の會員を以て組織する

(イ) 正會員 京都大學經濟學部教授、助教、講師

(ロ) 學生會會員 京都大學經濟學部學生

(ハ) 贊助會會員 本會の事業を贊助する者

(ニ) 名譽會會員 京都大學法學部教授、助教、講師

第三條 前條の外所定の會費を納めて「經濟論叢」の頒布を受ける個人及團體は購讀會員とす

第四條 特別の場合に限り前二條に定められた會員以外の者にも會員に準ずる取扱いをすることができ

第五條 本會の事務所は京都大學經濟學部内に置く

第六條 本會は左の事業を行う

一、機關雜誌「經濟論叢」を發行すること

二、別號を發行することがある

三、毎月一回學術研究叢書一を發行すること

四、毎月一回公開講演會を開催すること

第七條 略

第八條 會員には雜誌を配布する、但し臨時特別號は此限りではない

第九條 會員は左の會費を納めなければならない

(イ) 正會員 年額 八百圓

(ロ) 學生會會員 年額 七百圓

(ハ) 贊助會會員 年額 壹萬圓以上

(ニ) 購讀會會員 年額 八百圓以上

第十條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による

第十一條 本會規則の改正變更及財産の處分は評議員會の決議による

昭和二十七年十二月

京都大學經濟學會

卒業生名簿について

京都大學經濟學部は創立以來三十有五年の歴史を有し、八千六百餘名の卒業生各位が實業界、官界その他あらゆる方面において、御活躍して居られますことは、誠に御同慶に堪えない次第で御座います。

卒業生各位の御動靜をお互に知り合うことは、何かにつけて便利であり、學部將來の發展のためにも、寄與することであると存じまして、卒業生名簿を昭和二十七年初めて發行致しましたが、何分にも最初のことでもあり、不備の點も多々ありましたので、これを訂正しその後の卒業生を増補して今般昭和三十年版を發行することにいたしました。何卒御購入下さるようお願いいたします。

記

一 一體 裁 B5判 縦組 一四〇餘頁

一 內容 卒業年次別五十音順に氏名、出身校、住所、勤務先、電話番號を掲げ、別に五十音順の總索引、在學生名簿を附す

一 頒 行 昭和二十九年十二月

一 額 價 三百圓(送料を含む)

名簿代金の取扱については第一銀行百萬遍支店に便宜代行致させますから御送金は同支店宛とし振替口座(京都二七〇〇番)へ御拂込下さいませよう願ひ致します。

なお通信欄には、氏名、卒業年次、現住所及勤務先等を御明記下さい。

昭和二十九年十二月

日

京都大學經濟學會

既刊目次

第七十四卷第三號

九月一日發行

反帝國主義者ホブソン
定價 六〇圓

紡・織業の産業革命と
靜田均

「抽象的・人間的労働」
三島康雄

第七十四卷第四號

十月一日發行

日本鐵鋼業の成立と
金野一鐘

對外投資
難波平太郎

マルサス・リカアド研究の
岸本誠二郎

意義と問題
穂積又雄

中國貨幣史の特質
小島昌太郎

經營とその形態
有富重尋

H・P・エギラス著
メアリー・ノリス著

當面するアメリカの經濟恐慌について
中西健一

J・ニヒトヴァイス著
山口和男

「東ドイツ農業における再版農奴制といわゆる資本主義發展のプロシヤ型の問題」
山田浩之

第七十四卷第五號
十一月一日發行

レーニンの市場理論について
定價 一〇〇圓

封建地帯とブルジョアの發展
田中眞晴

阿波藩における葉藍專賣制度
協田修

マルクの成立過程
大槻弘

最高入先出法の批判的考察
吉信肅

執筆者紹介

田 杉 競 京都大學教授

眞藤 素一 京都大學大学院研究獎學生

谷山 新良 京都大學助手

昭和二十九年九月二十五日印刷
昭和二十九年十二月一日發行 定價 六〇圓

編輯兼 發行所 京都府下京區七條御所ノ内東町三九番地
簾治良左衛門

印刷所 中村印刷株式會社 中村勝治

發行所 京都市左京區吉田本町
京都大學經濟學會
振替口座大阪五〇五三九番

發賣所 株式會社 有斐閣

本社 東京都千代田區神田
神保町二丁目十七番地
京都市左京區北白川
農學部電務

Keizai-Ronzo

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 74, No.6

Dec., 1954

On Joint Consultation *Kisou Tasugi*

Inflation in the Earlier Meiji *Motoichi Shindo*

On the Mortality-Rate *Shinryô Taniyama*

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)